

## Artist



### 1 Gallery1 石川 亨信 <版画家>

銅版画を使い「見えたものが見得たモノ」とし、観る側の印象に委ねる空間構成を創りだす。



### 2 Gallery1 Nukillizo <画家>

マーブリングの技法により、白黒の世界を鮮やかに描き出す。偶然と必然の境界を自在に操り、無意識に語りかける。



### 3 Gallery2 藤沢 レオ <彫刻家>

作品を通して「生きる」という矛盾を越えた死との対話を「正義」という観点から表現している。



### 4 Gallery3 Barry Ashworth <写真家>

彼の目は特別だ。誰も見た事がない風景。そこには死と無の間で生まれる美を感じる。彼特有の詩的な観点が死と無の美を紡ぎだす。



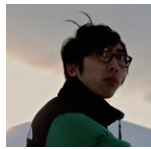
### 5 Gallery4 Chan Hang Feng <マルチメディアアーティスト>

彼の作品は人間の消費活動によって人間自身の生活にどのようなインパクトを与えるのかを抽象的、中傷的、時にはユーモラスに捉えている。



### 6 Gallery5 熊澤 桂子 <ガラス造形・現代美術作家>

真と戯の狭間に存在している神秘性を持つガラスは人間の儂さや美しさを映し出す鏡の様である。依存と作用がガラスにより屈折し、光が溜められたガラスは人間を魅了する不思議さを醸し出している。



### 7 Gallery6 Morgan Wong <マルチメディアアーティスト>

彼の作品は詩的である。特定の歴史や実際に起こった出来事、言語の交わりが生む新しい発見や観点を映像やインスタレーションなどで詩を詠うかの様に表している。



### 8 大通交流Gallery&Entrance 富田 哲司 <映像作家>

映像作品を軸に歴史の文脈を読み解き、現代社会に新しい価値を打ち立てるのではなく「今」を繋げるインスタレーションを展開している。



### 9 Entrance 村元 崇洋 <彫刻家>

現代の日常にある物や埋もれる製品、それらが塊になって現れる時、歴史ある建物の厳かな雰囲気と交わり非日常的な空間が生まれる。



### 10 廊下空間 & 1F & 2F 川上 リエ <彫刻家>

ミニマルな形状に感覚が共鳴する。鉄が鉄で無くなる瞬間、溶接により建物の様式、素材、そこにある歴史の臭いを抽出し、研ぎ澄ませるため再構築されて別な生き物が紡ぎだされる。



### 11 2F両端階段踊り場 MIN×MIN <インスタレーター>

点と点が創りだす無限のループ。全ては戻り戻って帰ってくる。輪廻転生、人は繋がっているように見えるが、確かに繋がっている。彼女は作品を通して、人間の価値観や個性がどのように社会でうごめいているのかを表しているようだ。

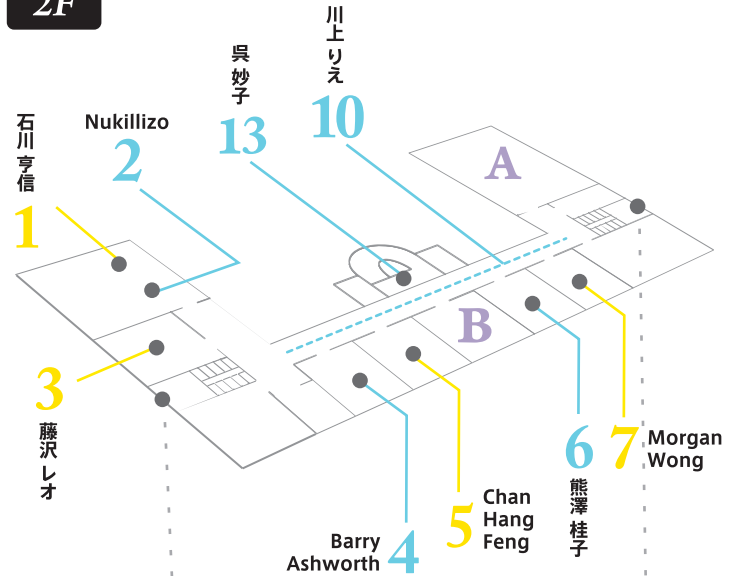
## Concept - 保存と活用 -

建物が控訴院であった事実、その歴史、イメージ、役割、また建物の空気感、威厳や装飾に表現されている要素や素材などを作品に取り込むことも重要である。歴史と文脈を個々の作品に取り入れ再解釈し新たな作品が生まれる事を強く望みます。ARTから歩み寄り、日常と溶け合う非日常を創りだすことがARTの責任の一つであるからです。

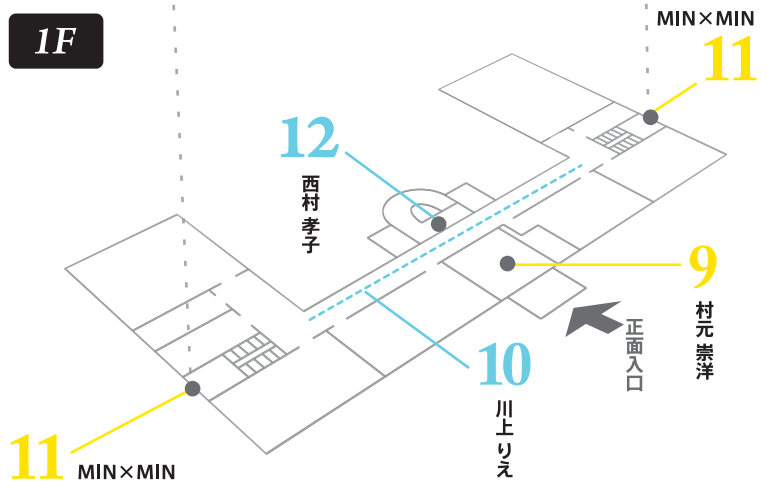
### To visualize the history and facts of Shiryoukan.

We would like to set the concept of Preservation&Utilization for the basic ideas for works of the participating artists. We ask the artists to think of the elements of the building, its history, roll, time, ambience, tension, colours, materials, decorations and so on in order to make a piece of art.

2F



1F



### 12 1F中央階段 西村 孝子 <いけばな展示>

10代より草月流に入門して以来、献身的な活動を続け、華と植物、生命あるもの全てを融合し匠に活ける。



### 13 2F踊り場 吳 妙子 <いけばな展示>

Flower Artistとしても活動しながら、Atelier Mura Tokyoの運営や展示会のプロデュースも手掛け、近年では博物館学芸員の資格を取得し勢力的にARTと携わっている。

A

### 研修室【音楽コンサート】\*詳細は裏面に!

21日 15:00-16:45 / 22日 15:00-17:45  
入場料 1,000円 (チケット有り二日間共通チケット)